

「教えて！ もしにゃん」 ～ 第1回 計算ミスなくしたい… その1 ～

「計算のルールはわかっている」「正しい計算はできる」ものの、うっかり計算ミスをしてしまうことがあります。もしにゃんは、次のようなミスをしました。

**もしにゃんのミス**

$$2 + 72 \div (37 - 28) \times 6$$

$$= 2 + 72 \div 9 \times 6$$

$$= 74 \div 54 \quad \leftarrow \text{ミス}$$

$$= 1.3703\dots$$

**正しい計算手順**

$$2 + 72 \div (37 - 28) \times 6$$

$$= 2 + 72 \div 9 \times 6$$

$$= 2 + 8 \times 6$$

$$= 2 + 48$$

$$= 50$$

＋、－、×、÷、( )が複数ある場合、計算が多いため、計算手順をまちがえてしまうことがあります。計算ミスを防ぐための工夫に目を向けてみましょう。たとえば、計算する順番を式に書いておく、気をつけたい部分を目立つように囲む、計算のかたまりに答えをメモする…など、いろいろな方法が考えられます。

計算する順に番号をふる	気をつける所を囲む	計算のかたまりにメモをする
$2 + 90 \div (42 - 37) \times 6$ ④   ②   ①   ③	$2 + 90 \div (42 - 37) \times 6$	$2 + 90 \div (42 - 37) \times 6$ 108 5 18 2+108

また、計算式を「取り組みやすい形」にして、計算回数を減らすこともできます。

計算の順番を変える	分配法則の利用	逆算のとき
$39 \times 25 \div 13 \times 4 + 13$ $= 39 \div 13 \times 25 \times 4 + 13$ $= 3 \times 100 + 13$ $= 300 + 13$ $= 313$	$5.23 \times 3.14 + 4.77 \times 3.14$ $= (5.23 + 4.77) \times 3.14$ $= 10 \times 3.14$ $= 31.4$	$21 \times 2 + (100 - \square) = 84$ $42 + (100 - \square) = 84$ $100 - \square = 84 - 42$ $100 - \square = 42$ $\square = 100 - 42$ $\square = 58$

さらに、「計算そのものをしない」ことも1つの方法です。みなさんが、かけ算九九を覚えたように、たとえば、次のようなことを知っておくと、計算をしなくてすむ場面が広がります。正しく筆算をするだけでなく、いろいろな工夫にも目を向けてみましょう。

- ・ 同じ数のかけ算  $2 \times 2 = 4$ 、 $3 \times 3 = 9$ 、 $4 \times 4 = 16$ …、 $17 \times 17 = 289$ 、 $18 \times 18 = 324$ 、 $19 \times 19 = 361$ 、…
- ・ 3.14 のかけ算  $2 \times 3.14 = 6.28$ 、 $3 \times 3.14 = 9.42$ 、 $4 \times 3.14 = 12.56$ 、…、 $9 \times 3.14 = 28.26$
- ・ 2 のかけ算  $2 \times 2 = 4$ 、 $2 \times 2 \times 2 = 8$ 、 $2 \times 2 \times 2 \times 2 = 16$ 、 $2 \times 2 \times 2 \times 2 \times 2 = 32$ 、…
- ・ よく見る小数  $0.5 = \frac{1}{2}$ 、 $0.75 = \frac{3}{4}$ 、 $0.125 = \frac{1}{8}$ 、 $0.375 = \frac{3}{8}$ 、 $0.625 = \frac{5}{8}$ 、 $0.875 = \frac{7}{8}$ 、…
- ・ ×、÷は分数に  $27 \times 49 \div 36 \div 81 \times 63 \div 35 = \frac{27 \times 49 \times 63}{36 \times 81 \times 35}$
- ・ 100以下の素数 2、3、5、…、23、29、31、37、41、43、47、53、59、61、67、…、83、89、97